



おっぱいのおはなし

人間として育っていく第一歩で一番大切なのは何か？と問われた時、私はいつも「おっぱいと抱っこです」と答えます。ママの優しい抱っこで、おっぱいをもらえることが一生のスタートでの最高の幸せであると信じるからです。

出産は「ママ」のスタートですが、「お母さんになる過程・母性の芽生え」は授乳によってごく自然に出来るのです。生みあげた赤ちゃんを抱いておっぱい。自然なその営みが「母と子の絆」を大きく強くしていきます

もちろん、いろいろな事情があっておっぱいを飲ませることができないこともあるでしょう。でも、ママの優しいだっこでママの声・ママのにおいを感じながら、おなかもおっぱい。その幸せ！赤ちゃんにとって最高！至福のひとつときではないでしょうか。

愛和病院 看護部長 上田たかこ

おっぱいの話は第4 マザークラスです。

うれしおもしろいレシピ♪ ~いわしのつみれ汁~

◎材料(4人分)

いわしのすり身 80g(生姜汁、卵白、片栗粉、塩、酒で混ぜ合わせておく)

里芋 80g

人参 40g

まいたけ 40g

冬瓜 40g

春菊 40g

だし汁 800cc、

薄口醤油 15~20cc、

みりん・酒 少々

◎作り方

- ①鍋にだし汁を入れ沸いたらいわしのすり身をスプーンですくって入れる。
- ②①の団子が浮いてきたら里芋、人参、冬瓜(全て大きめのいちよう切り)まいたけを入れる。
- ③野菜に火が通ったら調味料で味付けする。
- ④春菊は別の鍋で茹でて3cmの長さに切り椀盛しておき③をそそぐ。



戌の日って？



「戌の日」は十二支の11番目にあたり、12日に一度まわってきます。

「犬」は多産であることから「安産の神様」とされ、また、「ワンワン」と吠えて家を守る「家の守り神」ともいわれてきました。

古くから、お腹に赤ちゃんを宿したお母さん達は「犬のように安産で産まれますように」「家が安泰でいきますように」と願いを込めて、妊娠5カ月に入った「戌の日」に岩田帯を巻く「帯祝い」を行ってきました。

その昔、お父さん達が「赤ふんどし」をつけていた時代には

縁起を担いで、岩田帯として「お父さんの赤フン」を巻く地域もあったとか・・・

今は、残念ながら？お父さんのパンツ事情の変化からか「赤フン」の妊婦さんには会えませんが。

愛和病院では毎月「戌の日」には神社でお祓いをしてもらった岩田帯を巻き、お祝いをするサポートを行っています。「安産への祈り」と「気合い」が入るみたいですよ！



安産！

お腹の赤ちゃんもきっと大笑い中！



赤ちゃん
まってるよ～



医療法人 愛和会



産科・婦人科 愛和病院

〒811-3101 古賀市天神5丁目9-1

TEL 092(943)3288

FAX 092(943)4576

<http://www.aiwa-hospital.or.jp/>

愛和病院 古賀 検索